

期首繰越金の設定

初期設定メニュー ⇒ 繰越金設定 に進みます。

この会計ソフトを使い始めた初年度は入力しますが、**次年度以降は新年度更新処理を行うと自動的に設定されます。**

1. 繰越金の入力

メインメニューで**部門**を選択 ⇒ 初期設定メニュー ⇒ 繰越金設定

- 繰越金を入れてエンターキーを押すと、画面の下部に借方合計、貸方合計が表示されます。設定の終了時には必ず、借方合計と貸方合計が等しくなることを確認してください。
- 補助科目を付けた科目（赤色表示）は補助科目に繰越金を入力してください。補助科目は「ダブルクリック」をしてください。
- **再計算**を押すと、大区分、中区分の小計を計算します。
- 次年度以降は、新年度更新処理で自動設定されます。

code	科目名	期首繰越
▶1000	流動資産	9,800,000
1100	現金・預金	7,700,000
1110	現金	100,000
1120	いるか銀行	6,600,000
1121	普通預金 2	1,000,000
1122	普通預金 3	
1123	普通預金 4	
1124	普通預金 5	
1125	普通預金 6	
1130	当座預金 1	
1131	当座預金 2	
1132	当座預金 3	
1180	その他の預金	
1200	受取手形	
1210	売掛金	2,000,000
1230	有価証券	
1240	棚卸資産	
1250	前払金	100,000
1260	貸付金	
1270	仮払消費税	
1289	[諸口]	
1290	流動資産	9,800,000
1291		
1300	有形固定資産	6,000,000
1310	建物	
1320	建物附属設備	

借方合計 15,800,000 貸方合計 15,800,000

・黒文字科目に繰越金を入れます。
・青文字科目は自動計算されます。
・赤文字科目は補助科目がありますので、補助科目に繰越金を入れてください。

更新処理をすると次年度は自動設定されますが、
個人事業の場合は
事業主借・事業主貸・元入金・繰越金を0円にして、
借方合計-貸方合計=元入金としてください。

2. 繰越金の入力

- 青色の科目は集計科目または表示のみの科目名でありますので、金額入力は出来ません。黒色科目に入力してください。

再計算のボタンを押すと、集計科目に金額が入ります。

			再計算
code	科目名	期首繰越	
▶1000	流動資産	9,800,000	
1100	現金・預金	7,700,000	
1110	現金	100,000	
1120	いるか銀行	6,600,000	
1121	普通預金2	1,000,000	
1122	普通預金3		
1123	普通預金4		
1124	普通預金5		

3. 補助科目がある場合

- 赤色科目は、補助科目があります。その科目の上でダブルクリックすると、補助科目の窓が開きますので繰越金を設定してください。

code	科目名	期首繰越	
1000	流動資産	9,800,000	
1100	現金・預金	7,700,000	
1110	現金	100,000	
1120	いるか銀行	6,600,000	
1121	普通預金2	1,000,000	
1122	普通預金3		

親科目		
いるか銀行		
コード番号	補助科目名	期首繰越
▶001	No1234567	100,000
002	No5588777	1,500,000
003	No7541226	5,000,000

4. 借方合計と貸方合計の確認

- 繰越金の設定が終わったら再計算をクリックしてください。
青色部分は自動計算されます。
- 必ず借方合計＝貸方合計であることを確認してください。

借方合計	15,800,000	貸方合計	15,800,000
------	------------	------	------------

5. 新年度処理をした後

- 次年度以降は、新年度更新処理を行うことにより期首の繰越金は自動的に設定されま
す。
- 個人事業の場合は、
事業主貸、事業主借、前期繰越利益は0円にして、借方合計と貸方合計の差額を元入
金で調整してください。
具体的には、下表のように事業主貸、事業主借、前期繰越利益及び元入金を0円して、
借方合計と貸方合計の差額を元入金に入れてください。

事業主貸	xxx 円 ⇒ 0 円
事業主借	yyy 円 ⇒ 0 円
前期繰越利益	Zzz 円 ⇒ 0 円
元入金	0 円にして、借方合計と貸方合計の差額を元入金にする